

授業科目名	担当講師名	対象学年	
看護を知る実習 I	学内教員 実習指導教員	1 年次	
授業形態	単位 (時間)	実習場所	学期
実習	1 (32)	県立大島病院、大島郡医師会 病院、和光園、施設、訪問看護	前期
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。		
学修内容	看護が行われている場を知り、看護師の役割と看護の実際を理解する。		
到達目標	1. 看護が行われている場を知る。 2. 様々な場で行われている看護を知る。 3. 看護師の役割を知る。 4. 看護の実際について理解できる。 5. 患者と患者を取り巻く人々とコミュニケーションを図ることができる。 6. 看護師になるための今後の学習課題が明確にできる。		
事前学習	看護学概論「看護の概念」、「看護の対象」基礎看護技術「コミュニケーション」		

授業計画

No.	授業内容
1日目 (8時間)	実習オリエンテーション (学内)
2日目・3日目 (16時間)	(臨地) 1. 施設オリエンテーションを受ける 2. 看護師とともに行動 (シャドウイング) する。 3. 患者と患者を取り巻く人々とコミュニケーションを図る。 4. カンファレンスを行い、毎日の振り返りをする。
4日目 (8時間)	まとめ (学内) 1. シャドウイングでとらえた看護師の行動や学びを、実習グループでまとめる。 2. 各実習グループの学びを全体に発表し、全員で共有する。 3. 5名グループを編成し、グループワークを通して看護の実際を理解する。 4. グループワーク後、全体に発表する。 5. 実習終了後、今後の学習課題をレポート提出する。
履修上の要件	看護学概論の看護の概念、看護の対象 共通基本技術のコミュニケーション
テキスト、教材、参考書	基礎看護学実習要項 系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論、基礎看護技術 I・II 医学書院
成績評価の方法	ループリック評価
備考	

授業科目名		担当講師名	対象学年
看護を知る実習 II		学内教員 実習指導教員	1年次
授業形態	単位(時間)	実習場所	学期
実習	1 (40)	県立大島病院 大島郡医師会病院	後期
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。		
学修内容	入院生活の環境を理解し、対象とのコミュニケーションを図る。 看護師の活動を通して、行われている援助の必要性を理解し、日常生活行動の援助を安全・安楽に実施する。		
到達目標	1. 対象の入院生活の環境が理解できる。 2. コミュニケーション技術を活用し、対象とのコミュニケーションを図ることができる。 3. 看護の基礎技術を活用して対象の観察ができる。 4. 看護師の活動を通して、行われている援助の必要性が理解できる。 5. 日常生活行動の援助を安全・安楽に実施ができる。 6. 対象の反応を捉えて報告と記録ができる。 7. 看護師としての態度・姿勢を考える。		
事前学習	共通基本技術・コミュニケーション、日常生活援助技術 I・II・III		

授業計画

No.	授業内容
1日目	午前：病棟内オリエンテーション、受け持ち患者の説明、看護師の援助場面の同行 午後：コミュニケーション、カンファレンス
2日目	午前：看護師の援助場面の同行、コミュニケーション、バイタルサイン測定 午後：振り返り（援助場面に同行したことをもとに援助の必要性を考える）
3日目	看護師の援助場面の同行、コミュニケーション、バイタルサイン測定 日常生活行動の援助の実施、報告、カンファレンス
4日目	午前：看護師の援助場面の同行、コミュニケーション、バイタルサイン測定 日常生活行動の援助の実施、報告 午後：振り返り（行った援助の振り返り）、実習反省会
5日目	まとめ（学内実習） 1. リフレクション（対象の入院生活の環境、行われている援助の必要性、日常生活行動が安全・安楽に実施できたか） 2. リフレクションした内容を発表し、学びを共有する
履修上の要件	看護を知る実習 I は終了している
テキスト、教材、参考書	基礎看護学実習要項 系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論、基礎看護技術 I、II 医学書院
成績評価の方法	ループリック評価
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
地域の実習		山城 歩 根本 洋子 学内教員		1年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (40)	市町村、診療所 社会福祉協議会	後期	月～金	8:30～15:30
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	地域の特性、地域に暮らす人々の自助・互助、地域包括ケアシステム 地域における保健活動・健康予防活動、多職種連携・協働				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に暮らす人々を理解する（多様な価値観・健康・生活） ・人間と環境は相互に作用し合い、健康や暮らしに影響することを理解する ・地域共生社会が目指す地域包括ケアシステムを理解する ・地域における多職種連携・協働の重要性を理解する ・地域に必要とされる看護師像を考える 				
事前学習	地域の特性 関係法令				

授業計画

No.	授業内容
1日目	学内で市町村実習、社会福祉協議会への実習について、教員からオリエンテーションを受ける。
2日目～4日目	2日目から、各市役所、役場、社会福祉協議会での実習を行う 2日間：市町村 1日間：社会福祉協議会 各事業について同行・参加し市町村、社会福祉協議会の地域活動を学ぶ。
5日目	最終日に学内実習にて、リフレクションや学んできたことをまとめる。
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	領域別実習要項 系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院
成績評価の方法	ループリック評価
備考	各実習施設への通学手段は学生各自で確保しておく 施設の駐車場を利用する場合は、事前に施設へ連絡が必要